

第6章 都市基盤

- 21. 市街地整備
- 22. 都市交通
- 23. 道路
- 24. 上水道
- 25. 下水道
- 26. 河川・水路
- 27. 公園・緑地・緑道
- 28. 住宅

基本施策21 市街地整備

担当 都市政策課・区画整理課

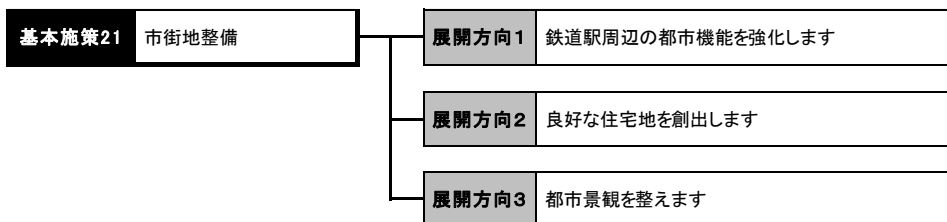
◆基本施策の目的

名鉄小牧線沿線を中心に、より多くの市民が便利で快適に暮らせる生活空間を確保するとともに、名鉄小牧駅周辺におけるまちの魅力を向上します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
小牧駅周辺が便利と思う市民の割合	%	32.3	30.1	29.3			↗
名鉄小牧線沿線居住率	%	56.5	56.9	57.2			↗
小牧市の景観について、好ましいと思う市民の割合	%	68.9	62.8	60.2			↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
64	田県神社前駅駅前整備事業 【都市政策課】	3,005	検討		
65	桃花台センター地域拠点整備事業 【都市政策課】	33,800	検討	基本設計	実施設計
66	都市計画マスタープラン改定事業(一般事務事業) 【都市政策課】	25,000		計画策定	⇒
67	土地区画整理事業関連整備事業 【区画整理課】	163,000	実施	⇒	⇒
68	土地区画整理事業特別会計繰出金 【区画整理課】	3,178,943	実施	⇒	⇒

新規

桃花台センター地域拠点整備事業

都市建設部 都市政策課

1 予算額 7,800千円

2 目的及び効果

小牧市においては、今後、人口減少や少子高齢化が進む状況のなかで、居住の誘導と都市機能の集積を図り、多極ネットワーク型コンパクトシティによるまちづくりを目指していきます。

篠岡地区は、桃花台センター地区を地域拠点とし、地域拠点を中心とした公共交通ネットワークを形成することにより、日常的な暮らしやすさにつなげます。



桃花台センターバス停前ロータリー

3 事業概要

桃花台センター地区周辺は、交通結節点としての利便性の向上を図るため、バス停を集約化するなどの拠点整備の検討を行います。併せて、中央道桃花台バス停に隣接するロータリー（桃花台線旧車両基地用地）についても、交通結節点としての整備検討を行います。

検討を進めるにあたっては、桃花台線インフラ撤去について、愛知県と調整を図るとともに、交通事業者などの関係機関との協議を行いながら、施設配置計画などの作成を行います。

拡充

土地区画整理事業関連整備事業

都市建設部 区画整理課

- 1 予算額 土地区画整理促進調査委託事業
- | | |
|---------|----------|
| 本庄地区 | 45,000千円 |
| 小牧原樋下地区 | 19,000千円 |

- 2 目的及び効果 道路・水路や公園等の公共施設の整備改善を図り、健全で良好な市街地形成を図るため、土地区画整理事業による総合的なまちづくりを推進します。

3 事業概要

- (1) **新規** 本庄地区

土地区画整理事業について具体的な検討を行うため、計画協議資料作成、現況・地区界測量等を行います。

- (2) **新規** 小牧原樋下地区

土地区画整理事業について具体的な検討を行うため、現況・地区界測量、区画整理設計等を行います。



基本施策22 都市交通

担当 都市政策課

◆基本施策の目的

各種の公共交通機関が有機的に連携するとともに、より多くの市民が自ら進んで利用することにより、持続可能な公共交通ネットワークを構築します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
小牧市の公共交通に満足している市民の割合	%	37.2	39.6	44.4			↗
公共交通機関の1日平均利用者数	人	37,078	38,654	40,298			↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
69	こまき巡回バス運行事業 【都市政策課】	990,000	実施	⇒	⇒
70	地域公共交通網形成計画策定事業(公共交通利用促進事業) 【都市政策課】	5,500	計画策定 (28年度～)		

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
71	小牧原駅・小牧口駅バ リアフリー化事業(公共 交通利用促進事業) 【都市政策課】	315,000	〈小牧原駅〉 設計・工事		
			〈小牧口駅〉 設計	工事	

こまき巡回バス運行事業

都市建設部 都市政策課

1 予算額 335,175千円

2 目的及び効果 交通空白地域のモビリティ向上、公共施設へのアクセスの確保のためこまき巡回バスを運行することにより、公共交通の利便性が向上するとともに、温室効果ガスの排出削減による環境の保護、道路渋滞の緩和に加え、自家用車から公共交通機関の利用への転換を促すことで、高齢者等の運転による自動車事故の減少に寄与します。

3 事業概要

○ 市内全域19コースを18台で運行します。

〔 車両：小型ノンステップバス(乗客定員35名) 11台
ワンボックスバス(乗客定員8名又は10名) 7台 〕

○ 全てのコースが1時間に1本程度の運行水準で運行します。

○ 田県神社前駅の駅前広場整備に伴い、運行ルートの一部変更するとともに、定時性の確保と利便性の向上を図るため、北部・東部地区を運行する全10コースのダイヤ改正を平成29年4月1日に実施して運行します。



地域公共交通網形成計画策定事業

都市建設部 都市政策課

- 1 事業年度 平成28年度～29年度
- 2 予算額 5,500千円
- 3 目的及び効果 都市計画マスタープランにおける将来都市構造や立地適正化計画における都市機能の立地などを踏まえ、まちづくりと連携した持続可能な公共交通網を形成していきます。
- 4 事業概要 地域にとって望ましい公共交通網のすがたを明らかにするマスタープランとして「地域公共交通網形成計画」を策定します。

平成28年度 基本方針策定

平成29年度 計画策定(基本方針に基づき目標を定め、目標達成に向けた施策、事業を検討、行動計画を整理)



拡充 小牧原駅・小牧口駅バリアフリー化事業

都市建設部 都市政策課

- 1 事業年度 小牧原駅 平成29年度
小牧口駅 平成29年度～30年度
- 2 予算額 80,000千円
- 3 目的及び効果 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づき、名古屋鉄道(株)、国、本市の3者の費用負担により、小牧原駅と小牧口駅をエレベーター設置などバリアフリー化の整備をすることで、駅施設利用者の利便性及び安全性の向上を図ります。
- 4 事業概要
 - **新規** 小牧原駅バリアフリー化設備整備費補助金 73,000千円
設計・工事(エレベーター1基、階段手すり、誘導警告ブロック設置等)
 - 小牧口駅バリアフリー化設備整備費補助金 7,000千円
設計(エレベーター2基、階段手すり、誘導警告ブロック設置等)
※平成30年度工事予定



(小牧原駅)



(小牧口駅)

基本施策23 道路

担当 道路課

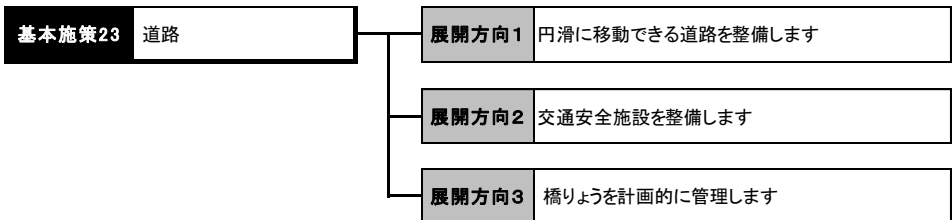
◆基本施策の目的

歩行者、自転車、自動車など道路を利用するすべての人々が、安全・快適で円滑に移動できる道路空間を確保します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
安全・快適で円滑に移動できる道路空間が確保できていると思う市民の割合	%	41.7	44.4	41.3			↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
72	道路新設改良事業 【道路課】	874,000	実施	⇒	⇒
73	街路新設改良事業 【道路課】	1,094,500	実施	⇒	⇒

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
74	道路照明灯LED化事業(交通安全施設維持一般事業) 【道路課】	52,000	実施	⇒	⇒
75	交通安全施設整備事業 【道路課】	476,500	実施	⇒	⇒
76	橋りょう新設改良事業 【道路課】	207,500	実施	⇒	⇒

道路整備事業

都市建設部 道路課

1 予算額 776,500千円

2 目的及び効果 生活環境に配慮した人にやさしい道路を整備し、歩行者や自転車が安全に通行できるようになります。

3 事業概要

○道路新設改良事業 314,500千円

○道路舗装新設事業 20,000千円

○道路側溝新設事業 65,000千円

○街路新設改良事業 377,000千円

市道高根三丁目5号線道路新設改良事業状況写真



(着手前)



(完了)

新規

道路照明灯LED化事業

都市建設部 道路課

- 1 予算額 2,100千円
- 2 目的及び効果 維持管理コストの縮減と環境面に配慮したCO₂排出削減を目的とした事業であり、LED照明灯の長期継続リース契約(10年契約、初年度は借上開始の平成30年3月の1カ月分)により、小牧市管理における道路照明灯をLED化し、電気料金削減と共にCO₂削減効果が見込めます。
- 3 事業概要 小牧市管理の道路照明灯 約1,800基のLED化
(デザイン灯等は除外)
10年間の長期継続リース契約
電気料金約4割削減
電気使用量の削減によりCO₂排出約500トン削減



交通安全施設整備事業

都市建設部 道路課

1 予算額 121,500千円

2 目的及び効果 交差点改良、歩道設置等の交通安全に寄与する施設の整備を行うことで、交通事故が減少し、安全・安心なまちづくりを推進することができます。

3 事業概要

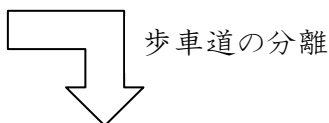
○交通安全施設整備事業

- ・交差点改良事業 34,500千円
- ・歩道設置事業 87,000千円

市道記念線交通安全施設整備事業整備状況写真



(着手前)



(完了)

基本施策24 上水道

担当 料金課・水道課

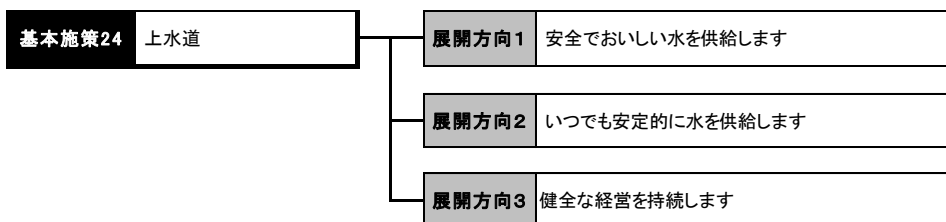
◆基本施策の目的

市民の暮らしや企業活動を支えるため、将来にわたって安全で安心な水道水を安定的に供給します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
断水を伴う突発的な漏水事故件数	件	7	7	6			↓
安全でおいしい水と思う市民の割合	%	80.1	81.1	81.5			↑

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
77	小牧市水道事業会計 繰出金 【料金課・水道課】	390,000	実施	⇒	⇒

基本施策25 下水道

担当 下水道課

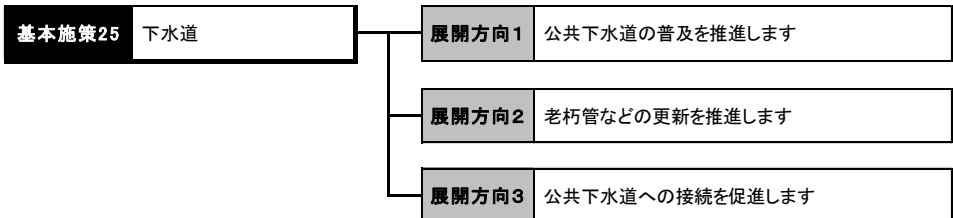
◆基本施策の目的

河川や水路などの公共用水域の水質保全を図り、良好な都市環境および水環境を創出し、市民の衛生的で快適な生活環境を確保します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
公共下水道接続率	%	64.0	65.8	66.3			↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
78	小牧市公共下水道事業特別会計繰出金 【下水道課】	4,176,000	実施	⇒	⇒
79	小牧市農業集落排水事業特別会計繰出金 【下水道課】	169,000	実施	⇒	⇒

基本施策26 河川・水路

担当 河川課

◆基本施策の目的

水害が起こりにくく、また、水害が発生した場合でも、その被害を最小限に抑制し、市民の貴重な生命と財産を守ります。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
床上浸水の被害戸数	戸	0	0	0			0

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
80	河川水路整備事業 【河川課】	565,000	実施	⇒	⇒
81	雨水対策事業 【河川課】	53,100	実施	⇒	⇒

地域の水害対策事業

都市建設部 河川課

1 予 算 額 295,026千円

2 目的及び効果 降雨を速やかに流下・排水できるように河川水路の整備を行うとともに、短時間での豪雨などに備え、一時的に雨水を貯留する施設の整備を行うことにより、水害が起こりにくく、また、水害が発生した場合でも、その被害を最小限に抑制することができます。

3 事業概要

○河川水路整備事業 295,026千円

野口区水路整備事業、道木川整備事業、

手越排水路整備事業、新濃尾土地改良関連整備事業等

平成 28 年度施工



河川水路整備事業
(新濃尾土地改良関連整備事業)

基本施策27 公園・緑地・緑道

担当 みどり公園課

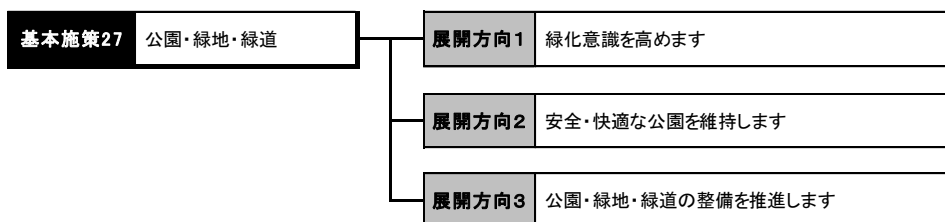
◆基本施策の目的

市民がより多くの緑と身近にふれあい、うるおいや安らぎを感じることができる、緑豊かな美しいまちを創造します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
緑が豊かなまちと思う市民の割合	%	73.0	77.0	74.9			↗
緑の創出面積	m ²	7,396	19,398	20,558			↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
82	緑のネットワーク整備事業 【みどり公園課】	65,600	実施	⇒	⇒
83	公園緑地施設整備事業 【みどり公園課】	568,820	実施	⇒	⇒

緑のネットワーク整備事業

都市建設部 みどり公園課

1 予算額 10,000千円

2 目的及び効果 合瀬川の河川管理用通路を利用し、地域住民が安全で快適に散策やジョギングができるように整備をすることで、健康・体力づくりや災害時の避難路として利用することができます。

3 事業概要

	合瀬川緑道
事業年度	平成9年度～
予算額	10,000千円
整備区間 延長	犬山市境～北名古屋市境 約7.1km
事業内容	整備工事(L=110m)
進捗状況 (H28年度末)	57.6% (4,093m)



合瀬川緑道



公園緑地施設整備事業

都市建設部 みどり公園課

1 予 算 額 160,520千円
(平成28年度12月補正 115,000千円)

2 目 的 公園の適正配置に努めるとともに、緑の保全・創出、自然にふれあえる公園を整備改修し、市民に憩いの場を提供します。

3 事業概要

○主な都市公園等

	浜井場公園 小牧南区画整理	市之久田公園	(仮称)多気公園
事業年度	平成26年度～	平成26年度～	平成29年度～
予算額	1,390千円	48,500千円	7,730千円
事業内容	整備工事(※) 5,000㎡	用地購入、実施設計 2,629㎡	基本設計・用地測量 1,660㎡

※浜井場公園(小牧南区画整理)については、平成28年度12月補正にて整備工事115,000千円計上



	北西部地区公園	(仮称)太良上池・ 下池公園	北新池
事業年度	平成20年度～	平成20年度～	平成28年度～
予算額	2,500千円	2,100千円	8,800千円
事業内容	修正基本構想 20,500㎡	自然環境調査(動物) 21.0ha	実施設計 7,000㎡

- 児童遊園(7か所施工) 予算額 89,500千円
経年劣化が進む児童遊園を、安心して遊べる児童遊園とするため、計画的に施設再整備を行います。



小針公園
(平成27年度施工)



本庄台第2児童遊園
(平成28年度施工)

基本施策28 住宅

担当 建築課

◆基本施策の目的

市民が安全・安心で長く使い続けられる良質な住宅ストックの形成を図ります。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
現在、居住している住まいが安全・安心と思う市民の割合	%	61.9	63.9	61.8			↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
84	民間木造住宅除却費補助事業(民間木造住宅耐震改修促進事業) 【建築課】	(注12) (6,000)	実施	⇒	⇒

(注12)事業費を括弧しているものは既設予算内で実施する事業です。

拡充

民間木造住宅耐震改修促進事業

都市建設部 建築課

1 予算額 24,500千円

2 目的及び効果 従来の耐震改修費補助の内容は、耐震診断の結果、耐震性がないと判断された建物を、一定の基準まで耐震性を向上させる改修工事費に対するものでありましたが、制度拡充として除却も対象とするものです。

3 事業概要

民間木造住宅耐震改修費等補助金

(1) 民間木造住宅耐震改修費補助金 22,500千円

耐震診断の結果、耐震性がないと判断された建物を、一定の基準まで耐震性を向上させる改修工事費の一部を補助します。

補助額:耐震補強工事、改修設計又は附帯工事に要する費用
(上限90万円)

(2) **新規** 民間木造住宅除却費補助金 2,000千円

耐震診断の結果、耐震性がないと判断された建物を、除却する工事費の一部を補助します。

補助額:解体、運搬及び処分に要する費用(上限20万円)

